

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1989
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.62, No.12 (1989. 12) ,p.9- 10
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	田口精一教授 平良教授 退職記念号
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19891228--009">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19891228--009</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 目 次

序	堀 江 湛……………七
オーストリアにおける外国人労働者の諸問題	宮 澤 浩 一……………二
——特に、治安に及ぼす影響を中心として——	
労働運動における量と質	中 村 勝 範……………四
工業所有権の侵害差止訴訟と民訴法一五条	石 川 明……………六
行政手続及び行政訴訟法における手続基本権の保障	木 村 弘 之 亮……………八
——聴聞請求権、情報自己決定権、公正手続請求権を中心に——	
解釈の学としての中世ローマ法学の基本思想	森 征 一……………一三
——〈モス・イタリクス Mos Italicus 研究序説〉——	
共和主義的憲法理論をめぐる若干の考察	大 沢 秀 介……………一五
——自由主義との関連を中心に——	
イギリスにおけるコンピュータにより作成された証拠の証拠能力	安 富 潔……………一八
アメリカにおける内部者取引規制の法理	並 木 和 夫……………二〇
——Charella 案と Dirks 両事件まで——	

交通事件における過失について……………	平良木 登規男……………	三五
——段階的過失論の批判的検討を中心に——		
反トラスト法における当然違法と合理の原則の関係について……………	田村 次朗……………	三五
——アリーダー教授の見解を中心に——		
ドイツ民法における不動産譲渡契約の要式性……………	七戸 克彦……………	三七
——「ドイツ法主義」の理解のために——		
明治四年・登米県における反乱陰謀未遂事件小考……………	手塚 豊……………	三三
ニュールンベルグ裁判の再検討……………	内山 正熊……………	三五
現代社会と、法・法学の自然観・人間観についての一考察……………	宮崎 俊行……………	三七
田口精一 教授 略歴・主要業績……………		三五
平 良 教授 略歴・主要業績……………		三七